

樹木観察のポイント・樹木観察の工夫

9 観察の土台

Point

- ・十分な時間を確保
- ・台の上で触察
- ・容器の中で触察



盲学校生が樹木のイメージをつかむためには、樹木を構成する各部分の形状や性質を観察し、その結果を統合する必要があります。そのためには、十分な時間と落ち着いて触察できる環境が必要です。まずは、観察に用いる時間を十分な余裕をもって確保します。また、柔らかい葉や枝はクリップボードなどの台の上に載せて触察すれば、丸まったり破けたり折れたりすることなく安心して観察することができます。小さな種子は豆腐ケースなどの容器の中に入れて触察すれば、落として見失ってしまうことがなく、ゆっくり観察することができます。このように、樹木を安心してゆっくりと観察するためのボードや容器などの補助的な用具を準備することも重要です。
